

1 コロナ禍から考える法と社会一次世代に向けて

コロナ禍になり、私たちのこれまでの生活様式は大きく変化しました。これによって社会のあり方などについて、いろいろと考える場面があったことでしょう。法学の世界も同じです。本年度の公開講座では、コロナ禍を通じて見えてくる法的問題について特に次世代に向けてどのようなことが語れるのか、憲法・行政法・法哲学の視点から一緒に考えてみましょう。

会場	対面：広島大学東千田キャンパス 未来創生センター4階M401・M402講義室 ※コロナの感染状況により中止にすることがあります。
時間	① 13:30~14:30 ② 14:40~15:40 ③ 15:50~16:50
定員	対面：50名
対象	どなたでも（中高生の参加を歓迎します）
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/9（金） ※定員に達しなければ9/29（木）（必着）まで先着順で受付

コロナ禍から考える憲法

第1回 10/8（土） 13:30~14:30	講師：法科大学院 教授 新井 誠 コロナ禍では、人々の様々な行動が制限されるなど、従来当たり前に感じてきた自由や権利、平等に関して考える機会が多くなってきました。では、どのような場面においてどのような憲法上の課題が見えてきたのか。改めて一緒に考えてみましょう。
---	--

コロナと補償

第2回 10/8（土） 14:40~15:40	講師：法科大学院 教授 福永 実 コロナがまん延する度に、政府の要請で多くの飲食・観光業が休業を余儀なくされましたが、それに見合う補償は必ずしも十分なものではないとして、政府の対応に批判が集まりました。ここでは、公法学の観点からコロナ休業に対する補償の要否を考えます。
---	--

コロナから考える自由と規制

第3回 10/8（土） 15:50~16:50	講師：法科大学院 講師 菊池 亨輔 新型コロナによって、日常の行動ルールや環境が変わったと感じている人は多いでしょう。このような体験を糸口にして、私たちの自由や、必ずしも法によらない様々な行為規制のあり方について、法哲学の見地から考えてみたいと思います。
---	---

講座内容に関する お問い合わせ先	東千田地区支援室（法科大学院担当） 電話：082-542-7087 メール houmu-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
-----------------------------	---